



令和5年5月22日

スーパーコンピュータ「富岳」のスパコンランキング結果が発表されました

スーパーコンピュータ「富岳（ふがく）」がスパコンランキングにおいて、2部門（HPCG、Graph500）で7期連続世界1位を獲得しましたのでお知らせします。
（同旨発表：理化学研究所、富士通株式会社等）

【1. スーパーコンピュータ「富岳」】

スーパーコンピュータ「富岳」は、我が国の科学技術の発展、産業競争力の強化に資するための最先端の研究基盤として、世界最高水準の汎用性のあるスーパーコンピュータの実現を目的として平成26年度より開発を開始しました。

当初は、令和3年度の共用開始を目標に整備が進められていたところですが、新型コロナウイルス感染症への対応を含め、我が国が直面する課題の解決や科学技術の発展、産業競争力の強化へ可能な限り早期に貢献していくため、当初予定を前倒し、令和3年3月に共用を開始しました。

共用開始後は、一般・産業利用をはじめとする幅広い課題で多様な研究者等に活用されるとともに、政策的に緊急又は重要な課題を実施する枠組みのもとで関係省庁により活用されています。

令和4年度からは、気象庁による線状降水帯予測の高度化研究におけるリアルタイムシミュレーションへの活用や、企業コンソーシアムとの連携によるAIを活用した創薬研究が開始されました。また、本年5月からは、大規模言語モデルの構築のための研究開発に新たに取り組むなど、防災・減災、健康医療、エネルギー、ものづくりといった幅広い分野において、様々な取り組みを進めています。

【2. スパコンランキング】

本ランキングは、ドイツで開催されているハイパフォーマンス・コンピューティング（HPC）に関する国際会議“ISC2023”にあわせて、5月22日付に発表されました。

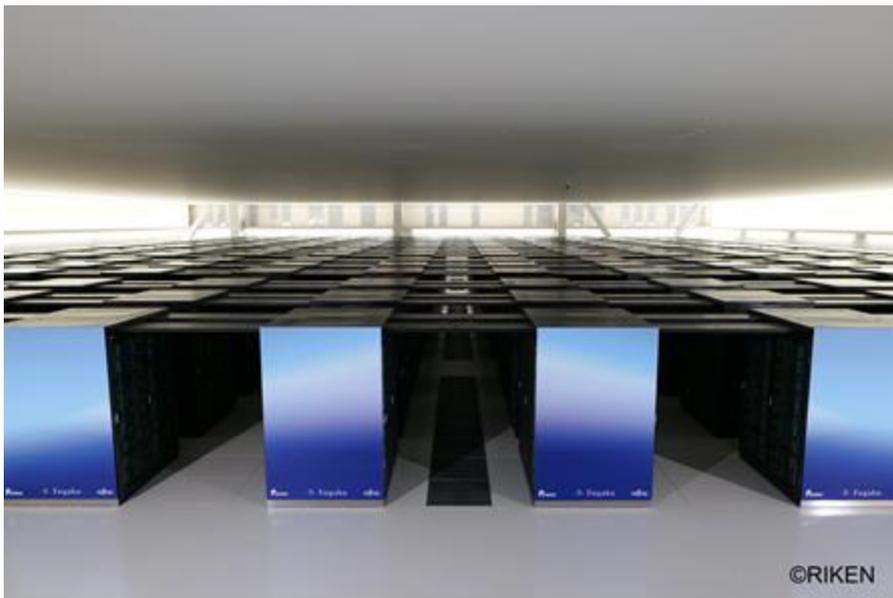
「富岳」は、今回発表されたスーパーコンピュータの性能を評価する様々なランキングのうち、HPCG（アプリケーション実行性能）及びGraph500（ビッグデータ処理性能）において、昨年11月に発表されたランキングに引き続き、7期連続で世界1位を獲得しました。

※ 各ランキングの詳細などは、5月22日付の理化学研究所および富士通株式会社等の

発表資料をご覧ください。

文部科学省では、「富岳」を国民共有の財産として、より一層幅広い方にご利用いただくための環境を整えるとともに、我が国の社会的・科学的課題の解決に貢献する画期的な成果の創出に向けて、引き続き取り組んでまいります。

また、昨年8月から開始した、ポスト「富岳」時代の次世代計算基盤に係る調査研究を通じて、サイエンス・産業・社会のニーズを踏まえながら、具体的な性能・機能等の検討を進めてまいります。



スーパーコンピュータ「富岳」

<担当>

文部科学省 研究振興局 参事官（情報担当）付 計算科学技術推進室

参事官補佐 谷本 順矢（内線 4081）

企画推進係長 中野 孝一（内線 4287）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-4275（直通）

（「富岳」について）

国立研究開発法人 理化学研究所 神戸事業所 計算科学研究推進室

アウトリーチグループ 岡田 昭彦

電話：050-3502-3691 <https://krs2.riken.jp/m/media-form>

富士通株式会社

富士通コンタクトライン（総合窓口）

電話：0120-933-200

※9時～12時および13時～17時30分（土曜・日曜・祝日・富士通指定の休業日を除く）